

交通事故で腕の神経を損傷した彦根市出身でトライアスロンの松居大選手(30)が、20~23日に韓国・慶州市で行われる「ASTCアジア古屋市」が、20~23日に韓国・慶州市で行われる「ASTCアジア古屋市」が、20~23日に彦根市役所を訪問したことをき

れ、市長から激励を受けた。松居選手は18歳の時、バイクで大学通学中にトラックと衝突する事故に遭い、後遺症が出た。26歳の時、就職した住宅メーカーの同僚と一緒にマラソンに出場したことをき

つかけに競技を始めた。各地の大会に出ていた。各地の大会に出ていた。実績が認められて今回の出場につながった。

選手権で出場するのには、水泳0・75キロ、自転車20キロ、ラン5キロの競技。韓国や中国などから9人がエントリー

交通事故で腕損傷 彦根出身・松居選手 韓国のパラトライアスロン出場 きょうから「パリ・パラへタイム上げる」



大久保市長(右)から激励金を受け取る松居選手
—彦根市役所

滋賀

琵琶湖病院
精神科 内科
FAXTEL
007777579852408273
大津市坂本二丁目八番五号
問を受けた大久保貴市長は「強化指定選手を目指せる競技。2024年のパリパラリン

www.biwako.or.jp

している。市役所で訪い」と激励。松居さんは「年齢に関係なく上長は「強化指定選手を目指せる競技。2024年のパリパラリン

目指して頑張ってほし

きたい」と話した。(豊原裕)

離乳食調理で交流深め

近江八幡で「赤ちゃん食堂」保護者、4品挑戦

子育て中の親が離乳食を深める「赤ちゃん食づくりを通して交流」が19日、近江八幡

市立田町の市総合福祉センターひまわり館で開かれた。参加者が管

理栄養士の指導の下、魚の煮付けやみそ汁などを4品に挑戦した。

近江八幡市の子育てボランティア団体「わいきやきや」が、2017年から実施。今回

は、市内在住の生後5ヶ月~1歳5ヶ月の赤ちゃんなど母親計4組が

参加した。

スタッフが赤ちゃん

をあやす中、母親たち

はカレイの煮付けなど

を取り組んだ。管理栄



赤ちゃんに離乳食を食べさせる母親ら(近江八幡市土田町・市総合福祉センターひまわり館)

ピックに出場できるよう、タイムを上げていきた」と話した。食事から「離乳食は大人用の料理の一部を取り分けて、刻んだり味付けしたりするだけで簡単に作れる」などと助言を受けながら、丁寧に調理を進めた。

丸柱真優佳さん(33)は「離乳食は難しいと思つていたけれど、楽しく作ることができた」と舌を弾ませた。(佐藤雄)

大津

個性豊かな画風楽しく 市民洋画サークルが作品展



滋賀県の風景や静物、人物画が並ぶ
「個の会」の作品展
(大津市・市生涯学習センター)

大津市民らの洋画サークル「個の会」の作品展は23回目。滋賀県が19日、同市本丸町の市生涯学習センターで始まつた。油絵と水彩の絵画

約40点が来場者を楽し

ませている。

作品展は23回目。

大津市民らの洋画サークル「個の会」の作品展は23回目。

滋賀県が19日、同市本丸町の市生涯学習センターで始まつた。油絵と水彩の絵画

約40点が来場者を楽し

ませている。

大津市民らの洋画サークル「個の会」の作品展は23回目。

滋賀県が19日、同市本丸町の市生涯学習センターで始まつた。油絵と水彩の絵画